



栃木

27.1.10

会議所ニュース

ホームページ <http://www.tochigi-cci.or.jp/> Eメール tcci@t-cnet.or.jp

No.571

毎月1回10日発行
発行所
栃木市片柳町2-1-46
栃木商工会議所
TEL (23) 3131(代)
FAX (22) 7550
印刷所 日ノ出印刷(株)
定価 1部100円

会員の購読料は、会費に含まれています。



迎春

迎春 2015 会頭あいさつ



栃木商工会議所

会 頭 大川 吉弘

新年明けましておめでとう
ございます。

会員事業所の皆様には、平成二十七年末年の新年を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

私は、一昨年に会頭就任以来、『商工会議所の継続性と更なる発展、並びに会員事業所の笑顔のために』の実現に向けて、新たに「県南50万都市圏推進研究会」「産業振興（6次産業）推進研究会」「郷土偉人顕彰推進研究会」の三研究会及び法令順守の「コンプライアンス特別委員会」を設置し、一年間事業を展開してまいりました。

まず、郷土偉人の顕彰・啓蒙活動の研究を目的に、栃木市から輩出した日立製作所創業者の小平浪平氏を偲ぶ「小平浪平生家」や「小平浪平記

念館」の視察研修を行い、氏の高き志の企業倫理・理念を

学ぶことができました。今回の研修成果を踏えて若手経営者の人材育成事業に反映するためより一層研究を深めてまいります。

加えて、1次産業・2次産業・3次産業からなる6次産業振興のため、首都圏農産物向けの、地域特性を活かした新たな産業の可能性について研究を行ってまいりたいと思

います。50万都市圏構想につきましては、昨年10月、隣市の小山市商工会議所との交流会議を設立いたしました。将来の県南中核都市に向けて、両市の補完するインフラ等課題について研究し、提言要望活動をしてまいりたいと思

います。さらに、周辺商工会との連

携を強化し新生栃木市を元気にするための施策として、新年度地域振興のプレミアム商品券を共催事業として取り組んでまいります。

また、小規模事業者に対しても商工会議所が支援し、若手経営者との交流・育成に引き続き努めてまいります。

そのような中、昨年6月には、国が小規模企業の振興を図るため、「小規模企業振興基本法」「改正小規模支援法」が成立・施行されました。

特に、改正支援法では、商工会議所が事業者に寄り添って支援をするなど中核を担うものとなってまいります。今年も引き続き、関係団体・行政機関と連携を強化し、全力で取り組んでまいりますので、会員事業所の皆様におかれましても、より一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、会員事業所の皆様が良い年でありますとともに、益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

(敬称略)

会 頭



大川 吉弘
ジャパンソルト(株) 取締役名誉会長

副 会 頭



笠原 孝之
㈱アサヒードー 代表取締役社長



大木 和
㈱大木組 代表取締役会長



小田 垣 俊 郎
北関酒造(株) 代表取締役社長



伏木 昌 人
栃木信用金庫 理事長



和 賀 良 紀
栃木商工会議所



白 澤 正 弘
白沢電気(株) 代表取締役社長



横 地 金 治
㈱栃木こすもす 取締役会長



中 新 井 宏 之
㈱丸森 代表取締役



滝沢 ハム(株) 代表取締役

議 員



谷 中 宏 太 郎
大正紙器(株) 取締役会長



伊 藤 紘 八
伊藤電機(株) 代表取締役



茂 呂 章
金朝商事(株) 代表取締役会長



大 阿 久 岩 人
㈱柏倉温泉太子館 会長



萩 原 良 和
㈱マロニエ 代表取締役



土 谷 一 郎
㈱土谷龍治郎商店 代表取締役社長



加 藤 祐 司
㈱加藤虎之助商店 代表取締役



若 林 芳 明
㈱木ランドホテル(株) 取締役会長



小 又 正 和
小又工業(株) 代表取締役



茂 木 広 至
茂木機工(株) 代表取締役



坂 本 邦 男
坂本産業(株) 代表取締役会長



松 本 欣 也
両毛印刷(株) 代表取締役



若 菜 秀 夫
㈱アスワン 代表取締役



嶋 田 完 治
シマダ(株) 代表取締役



青 木 良 一
青木ソバ粉(株) 代表取締役



津 布 久 茂
㈱ニッコークリエイト 代表取締役社長



山 内 一 生
日立アプライアンス(株) 総務部長



荒 金 憲 一
ケーブルテレビ(株) 取締役会長



高 橋 浩 二
㈱足利銀行栃木支店 支店長



GKNドライブレインジャパン(株) 人事副部長



西 畑 延 行
㈱西畑建材店 代表取締役



佐 々 木 靖 雄
㈱木冷暖工業(株) 取締役会長



須 田 安 价
須田商事(株) 取締役会長



小 池 弘 介
㈱スクラムフーズ 代表取締役会長



佐 山 俊 朗
㈱木市商店会連合会 会長



癸 生 川 敏 郎
㈱栃木県南自動車学校 取締役会長



永 田 章
㈱永田製作所 代表取締役社長



田 村 恵 昭
㈱木石油(株) 代表取締役



瀧 澤 太 郎
㈱丸森 代表取締役



井上章
代表取締役社長



早乙女勇
代表取締役会長



藤沼康雄
代表取締役
相談役

監事



平野正之
前副会頭



永山清助
元副会頭



田村佐重
元副会頭



栗原義彦
元副会頭

相談役



長澤厚史
専務取締役



松本稔
代表取締役



渡邊嘉一
代表取締役



栃木孝夫
代表理事



関口稔
代表取締役



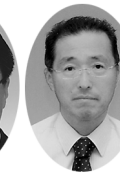
片柳均
代表取締役



柏崎和己
代表取締役



小野口美治
代表取締役



膝附武男
代表取締役



田村和洋
代表取締役



大澤光司
代表取締役

議員



平野和正
代表取締役社長



塚田和克
代表取締役



小藤有彦
代表取締役



福田昌弘
代表取締役社長



澄美川寿夫
工場長



古森淑幹
支店長



臼井均
代表取締役社長



猿山貴
常務取締役



海老沼康秀
監査役



青木紀郎
専務取締役



松倉敬士
代表取締役



斉藤秀之
支店長



後藤忠之
取締役社長



福富正浩
所長税理士



財田忠典
代表取締役社長



森川武
取締役



寺内治雄
代表取締役会長



染谷芳宏
取締役会長



板倉勇作
代表取締役



森戸忠広
専務



岩下和了
代表取締役

新年のあいさつ



日本商工会議所
会頭 三村明夫

明けましておめでとうございませう。

平成27年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日本商工会議所の会頭に就任して、2回目の新年を迎えました。就任以来、被災地も含めた各地の商工会議所、女性会、青年部、会員各企業等、多くの関係者と意見を交換し、数多くの課題について議論を重ねてきました。

人口減などにより存立の危機に直面している地域や、円安がコストアップに直結して苦しむ中小企業を目的に、当りにしました。同時に、明確な将来ビジョンを描き、活力を生み出している地域や、イノベーションに果敢に挑戦し成功している中小企業にも接することができ、強い感銘を受けました。いずれの場面においても、商工会議所が地域の大きな期待に応えるべく、積極果敢にリーダーシップを発揮しており、その任務の大切さ

を実感いたしました。

わが国経済は、多くの経済指標が改善を示すなど、全体としては明らかに回復の道をたどっており、20年

の道をつたえ、20年続いたデフレを脱却しつつあります。私は、アベノミクスの本質は需要創造政策だったと思います。大規模な金融緩和、財政支出、民間活動の活性化により、需要が増加し、需給ギャップは大きく改善されました。

人口減などにより存立の危機に直面している地域や、円安がコストアップに直結して苦しむ中小企業を目的に、当りにしました。同時に、明確な将来ビジョンを描き、活力を生み出している地域や、イノベーションに果敢に挑戦し成功している中小企業にも接することができ、強い感銘を受けました。いずれの場面においても、商工会議所が地域の大きな期待に応えるべく、積極果敢にリーダーシップを発揮しており、その任務の大切さ

率化は待ったなしであり、成長戦略は論ずる段階は過ぎ、実行あるのみです。一層の規制改革によるイノベーションの喚起、国際的な立地競争力の強化、低廉で安定したエネルギーの確保、人口減少の歯止めと地方創生などの山積する諸課題に対する適切な政策が、間断なく実行されることを期待します。

我々民間企業は、デフレマインドからの転換をチャンスと捉え、リスクをとりながら事業展開し、事業収益を次の設備投資や賃金増に結び付けなければなりません。経済の好循環を実現する原動力として、これまでの貯蓄主体から本来の投資主体に転換し、積極的に行動することが求められているのです。

このように我が国は、デフレマインドから脱却し、成長に向けた施策を実行することが急がれますが、二つの大きな構造的課題にも直面しています。一つは、「人口急減と超高齢化の加速化」、もう一つは「地方疲弊の深刻化」です。私は、経済財政諮問会議のもとに設置された「選択する未来」委員会の委員長

として、50年後の日本の未来像と2020年までに取り組むべき課題をまとめ、昨年11月に報告書を公表しました。

本報告の第一の目的は危機感の共有です。政府、地方自治体、民間企業、大学等の学術機関、市民など、あらゆる関係者が直面する人口急減、地方消滅の危機感を共有化し、一体的な取り組みを推進すべきことを提言しました。第二は、希望の持てる日本の未来は選択することができる、そのために、我々は未来ではなく今取り組まなければならない課題に直面していることから、その解決の方向性を提示することでした。

選択する未来委員会で提言した「50年後に1億人程度の安定した人口構造を保持すること」が、政府の「骨太の方針」に盛り込まれました。その実現のためには、少子化対策支出の倍増、生産性の飛躍的向上、男性の働き方改革など、ありとあらゆる対策を総動員する必要があります。各地の商工会議所が取り組んでいる婚活イベントなども直接的な効果の期待できる重要な取り組みですので、是非積極

的に推進していただきたいと思っております。地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

全国的に推進していただきたいと思っております。地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

全国的に推進していただきたいと思っております。地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

全国的に推進していただきたいと思っております。地方創生は大変困難な課題です。何しろ30年に亘る少子化、20年に及ぶデフレが地方の疲弊をもたらしたわけで、簡単に解決できるものではありません。地方には、観光、農林水産業、地方大学など、まだ十分に活用しきれない資源があります。こうした資源を如何にうまく地域の活性化に結び付けていくか、そしてそれを如何に若者の働く場につなげていくかが創生の鍵です。まさに、商工会議所が重点的に取り組んでいる「地域の再生」と直結する課題であります。

に向けては、全国514商工会議所の絆をもとに実施している「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」や「販路回復・拡大」などの活動を精力的に継続しなければなりません。一日も早い本格復興に向けて、現地が必要としている施策を丁寧に取りまとめ、政府などへ提言してまいります。

我々商工会議所が、自治体の首長や地域住民などあらゆる関係者とともに危機感を共有化した上で、知恵を絞って、実行する力を発揮すれば、現下の危機は乗り越えられるはずで、514商工会議所のネットワーク力など自らの強みに改めて自信を持ち、中小・小規模企業の活力強化や地域再生に積極果敢に邁進すれば、地域から日本の底力を上げる大きな原動力となります。

本年は戦後70年という節目の年でもあります。日本の新たな再出発に向けて、大いなる気概と自信と明るさを持ち、「実行あるのみ」を合言葉に、前に向かって動き出しましょう。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

平成27年新年のご挨拶



一般社団法人栃木県商工会議所連合会
会長 北村 光弘

新年明けましておめでと
うございます。皆様には、
健やかに新年をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。
さて、昨年を振り返って
みますと、17年ぶりとなる
4月の消費税の引き上げは
大きな混乱もなく、また国
の経済政策のデフレ経済か
ら成長経済への移行に向け
た舵取りにより、大企業に
おいては収益が改善し、ま
た株価がリーマンショック
前の水準に戻るなど、一部
指標においては経済の回復
基調が見られたところであ
ります。

しかしながら、私ども商
工会議所会員からは、高騰
する原材料費や燃料費、ま
た一部ではありますが、値
上分の消費税を価格に転嫁
できないと言った声も聴か
れるなど、中小企業は厳し
い経営環境にありました。
このような、未だ将来に
明るい展望が見渡せない中、
日本の将来に警鐘を鳴らす
出来事がありました。

有識者で組織する「日本
創生会議」が5月に公表し
た報告書によると、今後人
口が全体として減少する中、
大都市圏、特に東京への地
方からの人口流出が続くと、
地方の女性の人口が激減し、
多くの自治体が消滅するこ
ろという衝撃的な未来図が示
されたことです。

この危機的な状況を打破
するため、国の経済財政諮
問会議の下に専門調査会と
して設置され、日本商工会
議所の三村会頭が会長を務
める「選択する未来委員会」
では、人口減少・超高齢社
会を乗り越えるため、今か
ら行うべき取組みを明示し、
50年後の人口一億人維持、
東京一極集中の解消、そし
て特色を活かした地域の成
長・発展を未来とする内容
の報告書が11月に公表され
ました。

国においても、今後の地
方の再生・創生を図る司令
塔として「まち・ひと・し
ごと創生本部」を設置し、
関連する「まち・ひと・し
ごと創生法」が成立となり、
ようやくここにきて、地方
の時代が幕開けとなった

と心強く感じているところ
であります。
そして我々中小企業、と
りわけ小規模企業にとつて
大きな出来事もありました。
昭和38年の中小企業基本法
制定以来、実に51年ぶりに
国の産業政策の基本方針と
なる基本法として、小規模
企業振興基本法と改正小規
模支援法が成立・施行され、
地域経済を支え、そして雇
用の担い手である小規模企
業の活性化をより効果的に
再構築していこうとする基
盤が出来上がったことであ
ります。

私ども商工会議所の役割
も更に重要なものとなり、
小規模企業の持続的発展を
図る伴走型支援とともに、
地域ぐるみでの面的支援を
講じることが求められてき
ております。
商工会議所は、正に地域

の総合経済団体として長年
にわたり企業の経営支援、
金融相談、政策提言活動な
どに携わってきております
が、今まで以上に総力を挙
げ、強いリーダーシップを
発揮していかなければなら
ないと、心を新たにしたと
ころであります。
当連合会といたしまして
も関係団体や行政機関等と
の連携・ネットワークを強
化し、潮目の早い経済変化
に対応し、地域経済の活性
化そして安全で住みやすい
地域社会の実現のため各商
工会議所の事業推進のため
努めて参ります。
結びに、会員皆様のご健
勝と企業のご発展、そして
本年が更なる飛躍の年にな
りますよう祈念いたしました
て、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成27年新年知事あいさつ



栃木県知事
福田 富一

商工会議所会員の皆様、
あけましておめでとござ
います。
私は、知事に就任以来、

1ダーとして、現場主義を
徹底し、県民の目線に立つ
た県政を推進して参ります。
まもなく東日本大震災か
ら4年となります。この間、
私は、震災からの復旧・復
興に最優先で取り組んで参
りました。皆様の御尽力と
ふるさととちぎへの思いが、
復興の大きな推進力となり
ましたことに、改めて深く
感謝を申し上げます。引き
続き、風評被害の払拭など、
残された課題の解決に全力
で取り組んで参ります。

さて、今年、復興から
成長への確かな歩みを県内
に広く行き渡らせ、県民の
皆様が成長の成果を実感で
きるよう、各種施策を積極
的に展開していくほか、計
画期間の最終年度を迎える
栃木県重点戦略「新とちぎ
元氣プラン」の総仕上げを
図って参ります。

我が国は、急速な少子高
齢化と人口減少という、か
つて経験したことのない大
きな課題に直面しています。
次代を担う若者達が、栃木
県に定住するための就業機
会の創出や、安心して暮ら
せる社会づくりなどに向け
て、市町とともに知恵を出
し合いながら、従来の枠に
とられない柔軟な発想を
持つて、果敢に取り組んで

参ります。
現在、平成28年度を初年
度とする次期プランの策定
を進めています。こうした
課題に真正面から向き合
い、未来に希望と誇りを持
てる力強いビジョンを描い
て参ります。

また、平成29年度に本県
で開催される技能五輪全国
大会・全国アビリンピック
や、2020年に開催され
る東京オリンピック・パラ
リンピック競技大会は、本
県の経済成長と地域活性化
を図る絶好のチャンスであ
ります。さらにその2年後
に本県で開催される国民体
育大会・全国障害者スポー
ツ大会も視野に入れながら、
“攻め”の気持ちで、トレー
ニングキャンプ地誘致や観光
誘客などを進めて参ります。
皆様にも、国内外にとち
ぎの元氣と魅力を発信して
いただくようお願いすると
ともに、私も「元氣度 日
本一 栃木県」の実現に全
身全霊を傾けて参りますの
で、より一層の御理解と御
支援をお願いいたします。
年の始めに当たり、本年
が皆様にとって素晴らしい
年となりますことをお祈り
申し上げます。新年のご
あいさつといたします。

新年のごあいさつ



栃木市長
鈴木俊美

新たな年を迎えるに当たり、謹んで年頭のあいさつを申し上げます。平成27年が皆様にとりまして、幸多き年でありまして、心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月の消費税増税の影響により景気回復が思うように進まなかったこともあり、年末の総選挙の結果、消費税の増税が先送りされるとともに、「アベノミクス」の経済政策が引き続き推進されることとなりました。

このような中、本市にあっては、明るい話題の多い年でもありました。まずは2月に新庁舎が開庁、1階部分には東武百貨店がオープンし、市民の皆様の利便性が向上するとともに、中心市街地に賑わいを創出することができました。また、4月には岩舟町との合併により県内人口第3位の都市となり、念願でありました旧1市5町による新しい栃木市の姿が完成しました。

さらに、新しく誕生した栃木市マスコットキャラクター

鈴木俊美

「とち介」が、ゆるキャララグランプリに初参戦し、市民が丸となって応援した結果、全国8位に入賞するなど、栃木市を全国にPRすることができました。

新しい栃木市は今年さらなる飛躍を目指します。特に、産業支援のための各種事業や制度融資等の施策を推進するとともに、消費を喚起する施策や企業誘致に積極的に取り組み、商工業の振興に努めてまいります。

また、現在整備を進めております「とちぎメディアカウルセンター」や課題となっている「斎場」、「千塚町上川原産業団地(仮称)」の整備事業などを推進し、総合計画に掲げる将来像「自然・歴史・文化が息づき、みんなが笑顔のあつたか栃木市」の創造に向け、各地域の均衡ある発展と一体感の醸成に努めるとともに、それぞれの地域の特性を活かした個性的なまちづくりに取り組んでまいります。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

羊年議員さん 今年の抱負!!

新年を迎えて



大正紙器(株) 取締役会長
昭和パツク(株) 代表取締役会長
谷中 宏太郎

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。お健やかに爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、事務局から「来年の議員の抱負」の原稿を書くようにと仰せつけられました。とっさに亡父(谷中雄三郎 享年75才)の元氣だった頃に書き上げた色紙を思い出しました。私と同じ未年で、6周(72才)の誕生日にゴルフをやった思い出を得意の書道と絵画に筆を走らせたものでした。今日ここに披露申し上げます。

考えてみると未年生まれ、私の私も今年6周(72才)の72才。時の流れの早さに唾

然といえます！
次いで文末の私のワンフレーズをご覧ください。

昨年2014年は私が30才で昭和49年にゼロから創業した昭和パツク(株)が創業40周年を無事迎えるおかげで新栃木駅前リニューアルした本社ビルを完成することが出来ました。その祝宴には皆様の代表として大川会頭様と和賀専務理事様にご祝辞を頂くことが出来まして、大変有難くここに重ねて御礼申し上げます。



六週目の誕生の日のゴルフかな
大正八年二月二日生 谷中雄三郎
平成三年未年二月二日 昭和四十九年一月一日創業
於 栃木カントリー倶楽部 第一ゴルフコンパ参加

未来翔

あけまして
おめでとーございませう
未年の今年
スローでも一歩一歩
歩んでまいります

新年を迎えて



有限会社 ケイエス自動車整備工場
代表取締役 関口 稔

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、恙無く新年をお迎えの事と思っております。

私にとつて本年未年は五回目を迎えます。所謂、還暦を迎えるわけです。振り返り見ますと我武者羅に生きてきた人生であったように思います。これから歳を重ねて行くわけですが、此れまでよりは慎重に尚且つ大胆に生きていきたいと思うこの頃です。

話は変わりますが、経

済は好景気の欠片も覗き見すら出来ない状態です。市内の現状を見ても言わずもがなではないでしょうか？自分の会社に置き換えてみると地域密着型の業態ですので地元を根を張った(情報をいち早く掴む)営業努力を怠らない事で、好転するものと確信しております。

最後になりましたが、会員皆様のご健勝と益々のご発展をご祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて



株式会社 板倉製作所
代表取締役 板倉 勇作

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

突如として師走に衆院選が行われるなど、会員

の皆様におかれましては、慌ただしい年の瀬をお過ごしだったかと思っております。何はともあれ、無事に健

やかな新年をお迎えしたることお慶び申し上げます。昨年は、栃木市と岩舟町が合併し、旧1市5町による合併が一区切りとなりました。人口も県内で宇都宮、小山に継ぐ第3位の規模となり、新生栃木市、そして本会議所が市内外からますます注目されることと思えます。本年の干支は未であり、ヒツジは争いごとを好まず、群れをなす仲間との協調性を大切にす

る動物です。私もヒツジにちなみ、会議所の皆様とのチームワークを大切に、ウールのセーターのように皆様の気持ちを温かく包み込められるよう、新生栃木市の活気ある街づくりに役立ちたいと考えております。

最後になります。本年も皆様にとりまして実り多き一年となるようご祈念申し上げて、新年の年男としてのご挨拶とさせていただきます。

**当所常議員
（株）五月女タイヤー商会代表取締役**



五月女章一様ご逝去

当所常議員の五月女章一様は、去る12月15日ご逝去されました。

故五月女章一様は、平成13年に当所常議員に初当選され、平成16年より常議員に就任されました。

5期13年に亘り当商工会議所活動に格別のご尽力を賜りました。

茲に、生前のご尽力に感謝を申し上げます、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

第2回郷土偉人顕彰推進研究会開催

去る12月16日、第2回郷土偉人顕彰推進研究会（伏木委員長）が開催された。

はじめに、視察研修の報告を行った。内容は、①第1回研究会で視察した「合戦場小学校内小平浪平資料室及び小平氏生家」、②YEGと共催の「渋沢翁に学ぶ視察研修」と題した視察研修、③「日立製作所小平記念館」を訪れた議員団視察研修旅行、④合戦場小学校と日立市立会瀬小学校との交流会視察報告。以上4点の報告がされた。

議員団で視察した「小平記念館」は、小平氏の代名詞である「5馬力モーター」をはじめ、遺品や創業当時の書類など貴重な資料が数多く展示されており、小平氏が社員に向けて行った訓示映像では、小平氏の肉声を聞くことができた。

研究会では、委員による意見交換が活発に行われ、「小平氏の母校の後輩の方々に広く知っても

第2回産業振興（6次産業）推進研究会開催

去る12月19日、第2回産業振興（6次産業）推進研究会（小田垣委員長）が開催された。

はじめに、前回の確認として第1回研究会概要と、6次産業の意味、また、栃木市における農業の課題や施策等事務局より説明を行った。

今後、第1次産業は発展性がみられることから、経済団体及び行政が手を組み、環境を整えることが必要であると確認した。

続いてイタリア、ガンベロ・ロッソ社の表敬訪問について説明がなされた。10月30日同社会長他役員2名が、大川会頭を表敬訪問した。両国間の食文化連携に向けて意見交換が行われた。その後、訪問団は県庁で馬場副知事と、都内にて福田知事と面会した旨説明を行った。

その他、6次化企業の事例について、群馬県内の企業3社を紹介。その一つとして、事務局による「株田園プラザかわば」への現地視察報告を行った。

川場村は、農業と観光を組み合わせた活力ある「村づくり事業」を行っており、その代表的なものが、関東好きな道の駅5年連続第1位に選ばれている「道の駅かわば」である。

6.3ヘクタールの敷地に、ホテルや直売所、レストラン等が数多く立ち並び、年間150万人もの来場者数を誇る。景観・商品開発・販売方法に至るまで魅力ある観光施設であった。

今後、栃木市における6次産業の可能性や特産物を生かした食文化発展について、多方面からの調査研究や意見交換の必要性を感じた。



第2回産業振興（6次産業）推進研究会開催風景



第2回郷土偉人顕彰推進研究会開催風景

決算書・確定申告 作成指導相談会

当所では、個人事業所で青色申告をされている方の、決算書と確定申告書作成指導相談会を開催します。

ご自身で作成が困難と思われる方々のために、派遣税理士に協力いただき、低廉な費用で事務の代行を致します。

■日時 2月16日(月) 17日(火) まで

午前9時から正午 午後1時から4時

■場所 当所会議室

※事前に電話予約が必要になりますので、ご希望の方は左記までお問合せ下さい。

【お問合せ先】
中小企業相談所

TEL 23-3131

無料相談会

商工法律相談

日時 2月10日(火) 3月10日(火)

午前10時～11時30分

相談員 弁護士

司法書士法律相談

日時 3月10日(火)

午後1時30分～午後3時30分

相談員 司法書士

知的財産権相談

日時 3月11日(水)

午前9時～午前11時

相談員 弁理士

経営まるごと相談

日時 3月11日(水)

午後1時30分～午後3時30分

相談員 中小企業診断士

金融相談

日時 2月12日(木) 3月12日(木)

午前10時～午後4時

相談員 日本政策金融公庫

労務雇用相談

日時 3月13日(金)

午前9時～午前11時

相談員 社会保険労務士

事前予約が必要となりますので、お問合せ下さい。
中小企業相談所 TEL 23-3131

渋沢栄一と『論語』をひも解く

一吾、十有五にして学に志す
三十にして立つ
四十にして惑わず
五十にして天命を知る
六十にして耳順う

七十にして心の欲する所に従いて矩をこえず (『論語』学而篇)



孔子は、七十歳を過ぎた頃に、自分の人生を振り返

り返って、よく知られた名言を残しています。わかりやすい一節ですので、書き下し文のみで紹介いたします。

・吾、十有五にして学に志す
三十にして立つ
四十にして惑わず
五十にして天命を知る
六十にして耳順う
七十にして心の欲する所に従いて矩をこえず (為政篇)

この言葉に対し、九十二歳の長寿をまっとうした渋沢栄一が、どう己の人生に引きつけて解釈したのか、といいますと――
《孔聖の四十にして達し給うた不惑(ふわく)の

境涯は、余も七十歳頃よりどうやら手に入ったように思う。六十四、五歳頃までは他人より種々のお説教を聞くと、成程それもそうだと惑(まど)つたものであるが、七十前後よりまずかかる惑いを起さぬようになった。自分、孔子が四十歳で達した境地に、ようやく七十歳で至ったというのです。これは、かなり謙遜した言葉のようにも思えますが、実は、栄一が偉人であったことの何よりの証にほかなりませぬ。

先ほどの孔子の言葉、裏から読むと、実は面白い光景が見えてきます。裏から読むとは、こう読みます――
孔子といえども十四歳まで学問に志さず、二十九歳まで自立できず、三十九歳まで惑いっぱなしで、四十九歳まで天命を知らず、五十九歳まで他人の忠告にバカヤローと思ひ、六十九歳まで、欲望のままに振る舞うと社会的な仕儀に及びかねなかつた――
しかし、孔子の真に偉大などころとは、こうした

自分の欠点、弱みを自覚し、それを直そうと生涯努力し続けたことになりま。この点、栄一も同じこと、七十歳にして孔子の境地に追いつくべく、ひたすら自己研鑽を続けているのです。
人間、四十を超えると、良くも悪くも、変わらな。といわれることがあります。自己の向上や欠点の是正など、段々億劫になるのが人の性なのでしょう。ところが、その弊害から免れ続けていたからこそ、孔子と渋沢栄一とは偉大な存在であったのです。



守屋 淳 (もりや・あつし)

昭和40年東京生まれ。大手書店勤務を経て独立。Webで『本のメルマガ』、『書評』のメルマガを創刊、編集同人を務めている。著書に『孫子・戦略・クラウゼヴィッツ』(プレジデント社)、『最強の孫子』『活かす論語』(日本実業出版社)、共著訳書に『中国古典の名言録』(東洋経済新報社)、講演CDに『新説 孫子の兵法』『ビジネス版 三国志』(日経BP社)など多数。
http://www.honmaga.net/

*引用はすべて『論語講義』(渋沢栄一 講談社学術文庫)

中心市街地まちづくりニュース

来年4月オープン予定！優先交渉権者選定へ

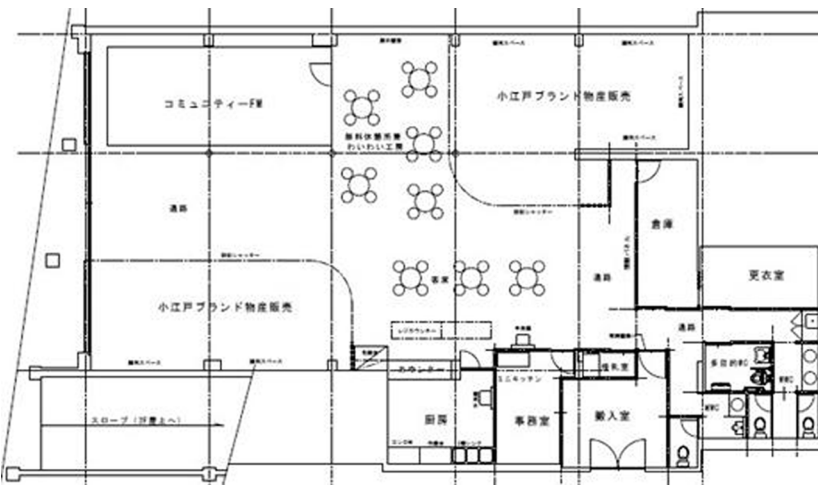
東武ギフトショップ跡地利用について

10月号でお伝えした「東武ギフトショップ跡地利用」について、その続報。市では蔵の街大通りに面した東武ギフトショップ跡地を...

中心市街地の活性化及び地域経済の活性化、さらには、栃木市の知名度やブランド価値の向上を図る...

平成28年3月31日、1,000万円(税込)を上限として必要経費の提案を求める。運営事業者の応募資格として、募集要項に定める条件を満たし、企画提案した事業を十分に実施できる資金力、管理運営能力、実績、信用を有する法人又は複数の法人で構成するグループとなり、今後、副市長他4名で構成される選定委員会は、事業者からの企画提案書を基に、事業者の概要や出店店舗のイメージ及び営業方針、資金計画や収支計画などを審査し、優先交渉権者を決定する。

当館は、平成27年4月のオープンを予定しているが、運営事業者を選定するため11月20日から12月15日まで公募を実施した。募集内容として、旧東武ギフトショップの店舗を活用して、とちぎ小江戸ブランド商品及びとちぎグッズの展示・販売を...



経営者保証ガイドラインセミナー個別相談会開催

開催日時 平成27年1月26日(月) 13:30~
開催場所 栃木県総合文化センター
主催 独立行政法人中小企業基盤整備機構
参加費 無料
お申込先 http://keieishahosho.smrj.go.jp (公式ホームページ)

栃木税務署からのお知らせ 平成26年分所得税等の確定申告会場は栃木商工会議所 大ホールです

平成26年分の所得税及び復興特別所得税、贈与税、個人事業者の消費税及び地方消費税の申告相談及び申告書の受付を下記のとおり行います。

確定申告会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくことが予想されます。申告書はご自分で作成して、できるだけお早めに提出してください。

- ※土・日曜日は開設しておりません。
※開設期間中は栃木税務署庁舎では申告相談を行っていませんのでご注意ください。
※申告会場では現金納付の窓口業務は行いません。
※栃木商工会議所では電話等でのお問合せを受け付けておりません。
※申告会場の駐車場は、混雑が予想されますので、お車での来場はなるべくご遠慮ください。

Table with 2 columns: 税務署による申告相談 and 税理士による申告無料相談. Rows include 会場 (栃木商工会議所大ホール), 開設期間 (平成27年2月16日~3月16日), and 受付時間 (9:00~16:00).

【お問合せ先】 栃木税務署 ☎ 22-0885

青年経営者会 NEWS

る・じょーむ

Le Jeune homme

●No.325 平成27年 1月10日発行 ●編集/青年経営者会情報マネジメント委員会



新年のご挨拶

栃木商工会議所
青年経営者会

会長 小林 雄一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より会員の皆様には、青年経営者会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「20年後、あなたが望もうが、望むまいが現在の仕事のほとんどが機械によって代行される。」昨年末、Google CEO ラリー・ページによる衝撃的な談話が発表されました。

テクノロジーにより、生活は劇的に良くなり、生活コストも安くなる。しかし、テクノロジーが発展すればするほど、人間が物理的に行う仕事はどんどん無くなる。オックスフォード大学の調べでは、現在人間が行っている47%の仕事が20年以内に機械によって代行され、マイクロソフトCEOビル・ゲイツも人々にしっかりと来るべき未来を意識するようにと警告しています。

現在、テクノロジーの恩恵をビジネスにおいても必需している我々経営者にとって激変とも言える社会変動の中で、過去の蓄積や慣習だけでは通じなくなるニーズの変動に沿った企業経営と企業の方向性を熟慮し選択すべき時期が到来したと実感しています。

言い換えると、グローバル化の恩恵と代償でもあり、受入・拒絶も選択肢ですが、拒絶でチャンスを無くすのであれば、必然的に受入によりチャンスを求める事が先決であると考えます。その中でチャンスを掴む努力をしていくことが経営者の本質であり、その事自体は時代が変わっても根本的に経営者の基本であります。但し、判断の迅速さと変動対応の柔軟性は、テクノロジーと比例した数十倍の比重で必要になります。そのためには膨大な情報から必要な情報を受け取る手段と、その必要性と正確性と活用性が重要になります。

激動の年の幕開けに際し、メンバー並びに若手経営者の皆様にお伝えしたい事は、「栃木商工会議所青年経営者会が集う」という意味です。

それは栃木商工会議所を母体とした地域企業ネットワークと、日本商工会議所とその青年部、関東ブロック、栃木県青連とのネットワークによるビジネスマッチング、ビジネスプランニング、企業革新、補助金情報等の経営判断の基礎となる活きた情報が詰まったデータバンクであり、その活用と交流によっては判断の礎となりえるものであり、共に切磋琢磨しながら友情や縁を築いて企業発展を目指す地域経営道場と捉え、是非とも参加してご活用いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も青年経営者会活動に深いご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々のご活躍と実りある素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

栃木県商工会議所青年部連合会 第3回役員会に参加

12月18日、栃木県商工会議所青年部連合会第3回役員会が宇都宮市で開催され、私、副会長の谷中が小林会長の代理として出席した。

会議では、栃木県商工会議所青年部連合会平成27年度会長予定者の選出について協議され、児玉博利氏（宇都宮YEG）が選出された。また、県青連活性化委員会に各単会より1名～2名程度の委員の推薦依頼がなされた。

続いて、関東ブロック商工会議所青年部第35回関東ブロック大会とちぎ日光大会について、県内YEGメンバーが全員登録とする旨の要請と、親会に対する財政的支援要望の状況報告等が行われた。



挨拶を述べる高瀬県連会長

副会長 谷中 俊太郎



新入会員を募集しています。一緒に活動しませんか！

■会員の資格

栃木商工会議所の会員事業所で、50歳以下の熱意のある経営者及びその後継者、従業員の方。

栃木商工会議所青年経営者会事務局

〒328-8585

栃木市片柳町2-1-46(栃木商工会議所内)

TEL 0282-23-3131 FAX 0282-22-7550